

新しい海外移住 Guide Book

INTERNATIONAL **STAGE**
21世紀のバイオニアたちへ



※フレート内の数字はおおよその日系人口です

JICA
000
234
ESP
LIBRARY

昭和60年1月

国際協力事業団	
受入 期日 85. 3. 29	000
登録No. 11346	234 ESD

1985年3月29日
国際協力事業団
登録No. 11346
000
234
ESD

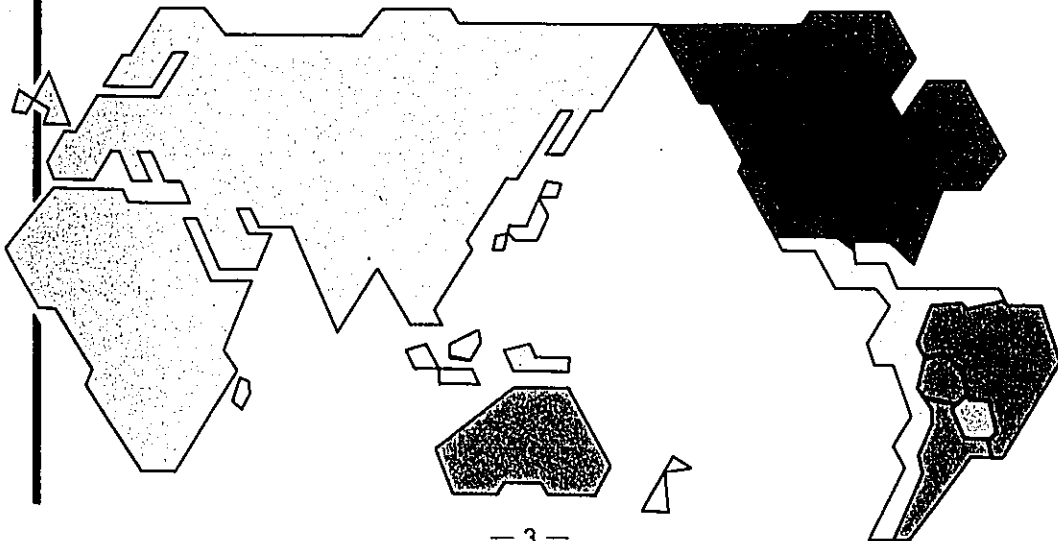
INDEX

- 4 世界のステージに翔べ 明確な目的意識と技術
それが海外移住への第一歩 ・移住先国の選択
- 5 技術の習得を応援します
- 6-7 BRAZIL(ブラジル)
- 8-9 ARGENTINA(アルゼンティン)
- 10-11 PARAGUAY(パラグアイ)
- 12-13 BOLIVIA(ボリヴィア)
- 14-15 AUSTRALIA(オーストラリア)
- 16-17 CANADA & AMERICA(カナダ・アメリカ)
- 18 移住相談から出発まで・渡航費援助のシステム
- 19 海外開発青年制度・国際協力事業団国内機関一覧

JICA LIBRARY



1023977[03]



世界の ステージに翔べ。

明確な
目的意識と技術——
それが

海外移住への第一歩。

1868年、日本人の海外移住が始まった。ヨーロッパ諸国に遅れること約100年、その歴史はまだ新しい。住みなれた祖国を離れ、異質の風土・文化に接し、未知の社会に自らの可能性を賭ける。「新しい人生の選択」は、安易な挑戦であってはならない。

必要なのは明確な目的意識と技術だ。キミが選んだ第一歩に、大いなる希望と自信を与えてくれる。そして柔軟な思想と個性。人生の可能性を広げることができるのは、キミ自身の力だ。オーストラリア、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ボリビア——これらの国々が、若く有能な人材を求めている。いま、自分に何ができるのか、何を望んでいるのか、まず自問してみるのだ。海外移住——それは、International Stageを実現する、最も確かなチャンスなのかもしれない。

移住先国の選択

(注) 1. 今後、国によって移住のケース・条件及び資格など変わることもあります。
2. 詳細は最寄りの支部に照会・ご相談ください。

移住先国名	ケース	資格・条件など
カナダ	1. 結婚移民	○カナダ国籍が取得可能な配偶者がいると自動的に申請が認められる。
	2. 投資移民	○企業・個人ともに「投資」したカナダ人または多国籍者連帯する組合を申請し、その事業に積極的に関与し、カナダ経済に著しく寄与する計画・実績から申請が認められる。事業を営むための資金があり、必ず結婚もしくは住居を、申請前に要する。
	3. 労働者移民	○カナダで労働する機会がある企業以上の者、個人が労働市場に貢献する必要がある。
オーストラリア	1. 結婚移民	○オーストラリア国籍が取得可能な配偶者がいると自動的に申請が認められる。
	2. 投資移民	○企業・個人ともに「投資」したオーストラリア人または多国籍者連帯する組合を申請し、その事業に積極的に関与し、オーストラリア経済に著しく寄与する計画・実績から申請が認められる。事業を営むための資金があり、必ず結婚もしくは住居を、申請前に要する。
	3. 労働者移民	○オーストラリアで労働する機会がある企業以上の者、個人が労働市場に貢献する必要がある。
アルゼンチン パラグアイ ボリビア	1. 投資移民	○企業・個人ともに「投資」したアルゼンチン人または多国籍者連帯する組合を申請し、その事業に積極的に関与し、アルゼンチン経済に著しく寄与する計画・実績から申請が認められる。事業を営むための資金があり、必ず結婚もしくは住居を、申請前に要する。
	2. 労働者移民	○アルゼンチン、パラグアイ、ボリビアで労働する機会がある企業以上の者、個人が労働市場に貢献する必要がある。
	3. 結婚移民	○アルゼンチン、パラグアイ、ボリビア国籍が取得可能な配偶者がいると自動的に申請が認められる。
ブラジル	1. 結婚移民	○ブラジル国籍が取得可能な配偶者がいると自動的に申請が認められる。
その他	1. 投資移民	○企業・個人ともに「投資」した国の人または多国籍者連帯する組合を申請し、その事業に積極的に関与し、当該国経済に著しく寄与する計画・実績から申請が認められる。事業を営むための資金があり、必ず結婚もしくは住居を、申請前に要する。
その他	2. 労働者移民	○当該国で労働する機会がある企業以上の者、個人が労働市場に貢献する必要がある。

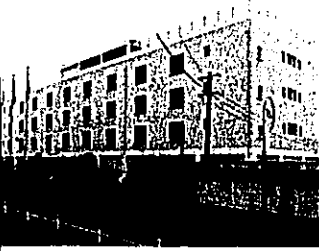
技術の習得を応援します。

農業技術者を 実習によって養成 海外移住研修所

農業移住を目指しているが、経験のない人——1年間の研修でその資格が取得できます。対象は18歳以上30歳程度までの男子。語学、農業専門科目、農業実習などの所内研修と、実際に農家で宿泊して農業生活を体得する所外研修があります。研修所を巣立った先輩たちは、すでに900人以上。現在、

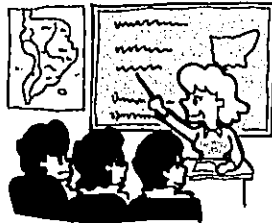


南米各地の農業分野で活躍しています。経費の自己負担額は、書籍代、食費で月額約1万2000円（半額は事業団負担）、研修見学費。授業料、宿泊費は無料です。



語学移住講座を主に 一定期間の集中訓練 海外移住センター

出発直前の移住者がここに集結、渡航手続きをとったり、必要な講習を受けたりします。また、近く南米（技術移住）、カナダ、オーストラリアに移住を予定している人々には、語学と国際教養を主な内容とする集中訓練が、一定期間実施されます。なお、逆に南米日系社会から日本に研修に来る人にとっても、ここが研修と宿泊の場になっています。



花嫁移住希望者の 訓練講習を実施 国際女子研修センター



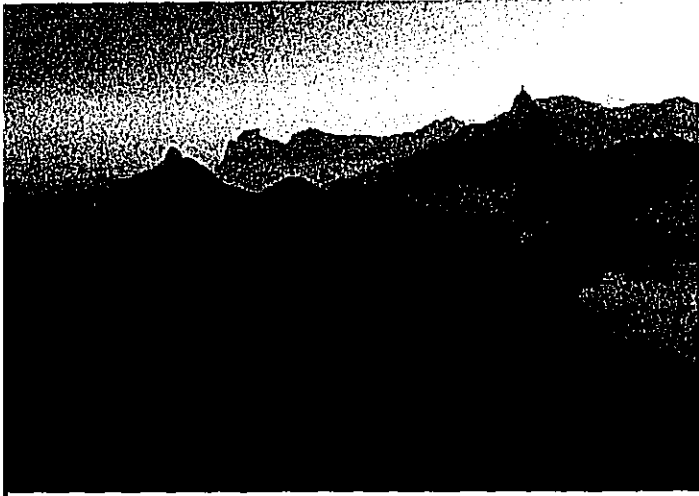
海外で活躍する青年との結婚を希望する、若い女性のための相談・研修機関です。募集は年2回、研修期間は2ヵ月で全寮制。受け入れ国および移住地の事情や生活習慣、語学、婦人教養などの訓練講習を受けます。移住先国で、主婦として女性として必要な知識・実技を身につけることができます。経費は生活費の5万円（45日間）。現在までに、約350名の研修終了者が、海外各地で円満で幸福な家庭生活を営んでいます。

所在地

海外移住研修所 ● 〒371-02 群馬県勢多郡宮城村大字柏倉4114 ☎0272-83-3225
 海外移住センター ● 〒235 神奈川県横浜市磯子区西町16-5 ☎045-751-1121
 国際女子研修センター ● 〒253 神奈川県茅ヶ崎市富士見町9-39 ☎0467-86-7403

BRAZIL

ブラジル



▲南半球最大の観光都市、リオ・デ・ジャネイロ、海と山が複雑に入り組み、自然と人工が見事に調和している

コーヒー王国は 南米一の工業国

国土の58%を占めるジャングル、アマゾン。近代的な建築物が整然と並ぶ未来都市、ブラジリア。産業、文化の中心地、

サン・パウロ。広大な国土に、さまざまな魅力が潜んでいる。1500年、カブラルの発見以来、南米唯一のポルトガル植民地となった。奴隷制の下で開発が進み、1882年、無血革命によって共和制が成立した。農業・畜産

が主産業で、なかでもコーヒーは有名。生産量は世界のトップを占める。また、ブラジルは南米一の工業国。日本から進出している企業は500社以上、日伯合弁企業も多い。

高く評価されている 日本人の心と技

1908年、サントス港に上陸した781人によって、日本人ブラジル移住の歴史が始まる。当初、コーヒー園のコロノ（契約労働者）として新天地の生活に挑んだ、先駆者たちの寝食を惜しんだ努力。ブラジルの農業発展にとって、日本人移住者の心と技は、な



ブラジル連邦共和国	
国土面積	約851万24km ² (日本の約23倍)
気 候	北ブラジル・熱帯圏、周年23~31℃の高温地帯 南ブラジル・亜熱帯、温帯圏。四季もはっきりしている
人 口	約1億2108万人・日系人数=約80万人
国民所得	約1979億6600万ドル(年間1人当たり1635ドル)
国 語	ポルトガル語
教育制度	初等教育(6~14歳)の8年間は義務制



◀農場を経営する横山さん宅 新しい移住青年、稲垣君は、3年後の独立が目標だ
▼現地で指導するサン・パウロの工系移住者

くではない存在となった。とくに、広大なアマゾンの開拓に寄与した日系人の評価は、きわめて高い。

さらに多様化する 求められる人材

ブラジルへの移住は昭和初期にピークを迎え、第二次世界大戦までに約19万人を数える。現在、ブラジル在留の日系人は約80万人（日本国籍の13万6千人を含む）、世界で最も日系人の多い国となっている。

そして日系人の地位は、世界的にみてもきわめて高水準。政



治・経済・教育・文化など、あらゆる分野の発展に貢献し、すでに、日系大臣2名を輩出している。

いま、ブラジルで求められる人材は多様化し、資本と技術をもつ人材を求める傾向も強くなった。ブラジル移住は、新しい時代に入ろうとしている。

▼アマゾン、トメアスーのこしょう農場。現地の人と談笑する移住青年



PEOPLE & SOCIETY

眩しい太陽、絵に描いたような青い空、底抜けに陽気な人々——。ブラジルの魅力は、とても一言では語りつくせない。

世界3大英港の一つに数えられるリオ・デ・ジャネイロは、南米最大の観光都市。熱狂する人々にぎわうカーニバルは、世界の名物だ。一方では、コーヒー園やサトウキビ畑が、広大な土地に果てしなく広がり、太陽の恩恵を受けている。

スポーツは、もちろんサッカー。プロ・プレイヤーになるこ



とは、少年たちの夢だ。素足でボールを蹴る少年の姿を、街のあちこちから見かける。



ARGENTINA

アルゼンティン

肥沃な土地に育った 高い文化水準

南米のパリ、タンゴの都ブエノス・アイレス。並木道や家々の構え、街並みのすべてに欧州の香りが漂う都市である。コロソ劇場は世界三大オペラ劇場の

一つ。世界の一流オペラ歌手や演奏家の檜舞台となっている。

アルゼンティンは他の南米諸国と異なり、人口の90%以上がヨーロッパ系移住者。文化水準が高く、洗練されているのもうなずける。

この国の経済の源は、畜産業



▲バラの収穫を指導する金子さん
◀アルゼンティンとブラジルの国境にある世界最大の滝、イグアス。80mの高さから落下し幅4kmに広がる。滝の位置さが25m離れたところでも聞こえるというスケール

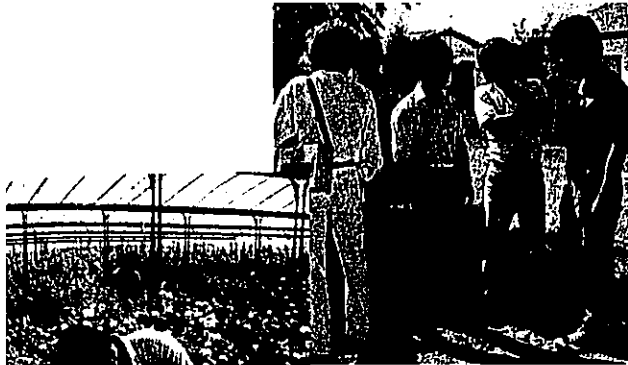
に適した肥沃なパンパス。南米最大の草原地帯である。肉類の輸出では世界有数、そして近年、工業化も進んでいる。

着々と実績を築いた 日本人の確かな力

1898年の国交開始以来、わが国とは伝統的な友好関係にある。移住は明治中期に始まり、当時、ごく限られた農業技術者やその近親呼寄者、あるいはブラジルやペルーからの移住者が続いた。

戦後、1959年にガルアペー移住地(約3000ha)が建設され、柑橘類、タバコ、マテ茶などが栽培されている。また、メンドサ州にはアンデス移住地(約1300ha)も建設、ブドウ、桃、イチゴなどの

アルゼンティン共和国	
国土面積	約279万1810km ² (日本の約8倍)
気候	南北に長いため、北は亜熱帯から南は寒帯におよぶ
人口	約2724万人・日系人数=約3万2000人
国民所得	約664億3000万ドル(年間1人当たり2390ドル)
国語	スペイン語
教育制度	初等教育の7年間は義務制



▲移住地に肩いたばかりの青年たち、緊張した面持ちで話を聞く

な職業に就いて活躍している。なかでも、クリーニング業の多いのが特徴で約36%を占め、そして農業23%、商工業41%となっている。農業の大半は花卉・野菜栽培。とくに花卉市場での日系人の影響力は大きく、50%以上のシェアを占めている。

1962年頃から、日系農家が日本青年の受け入れを開始、500人以上が移住し、彼らの多くは独立している。また、資金的に独立が難しい移住者には、国際協力事業団が10数カ所の小移住地を建設し、独立を援助している。

▼ラプラタで農業を営む山沢さん。現地の人とは友だちであり仕事のパートナーでもある

栽培が始まった。さらにアルゼンティン政府植民地や私有地では、独立した日本人が、花卉、野菜栽培に従事。これらの人々は、安定した生活を営んでいる。

移住者の受け入れに体制も整っている

現在、アルゼンティンの日系人は約3万人を数え、さまざま



PEOPLE & SOCIETY

だれでも億万長者になれるほどのインフレ。アルゼンティンの経済状態は、あまりよくない。それなのに悲憤感がまったくないのは、国民性に負うところが大きい。楽天的で陽気な性格は天性のものだ。



▲議事堂前にある自由と正義の銅像

教育水準は高く社会保障制度も充実。南米で最も進んだ国の一つだ。それだけに、アルゼンティンの人々は自尊心が高く保守的。独自の文化をかたくなに守りつづけている。

港町ボカで生まれたアルゼンティン・タンゴは、世界中で愛されている音楽だ。



PARAGUAY

南米大陸のほぼ中央に位置する内陸国。さびれて現代的で、移住者の受け入れに積極的。これからの発展を期待されている国。

パラグアイ

可能性を秘めた 未開の大地

約300年間のスペイン支配から独立したパラグアイは、農・牧・林業に依存する国。国土の40%が牧畜に適しており、牧畜業は最重要輸出産業である。また、国土の半分は森林で、木材生産も大きなウエイトを占める。

一方、鉱物資源には恵まれず、工業化も立ち遅れている。それだけに、可能性を秘めたこれからの世界、歯車の生活に満足できない若者を正面から受け止めてくれる新天地である。広大な森林地帯と平原は、チャレンジ精神をそそる。



整備された移住地 将来の独立も

パラグアイへの移住は、ブラジルへの移住制限がきっかけとなった。最初の入植は1936年、

アスンシオン市の東南132 kmのアラ・コルメナ移住地であった。

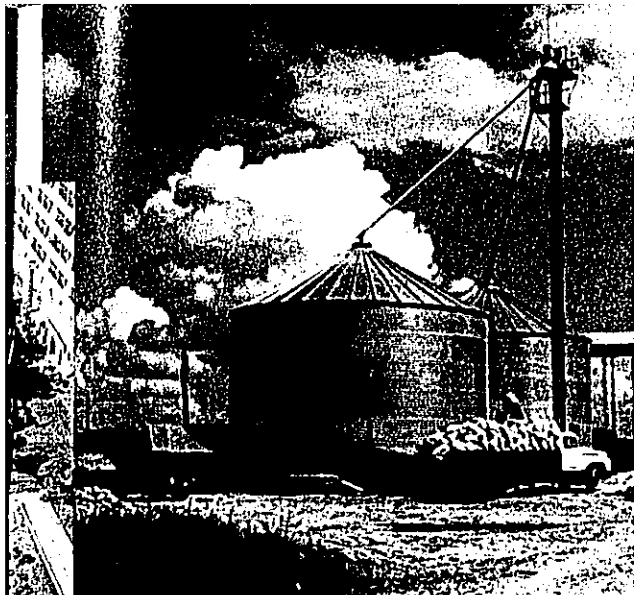
第二次世界大戦により、一時中断した移住は1954年に再開。チャベス国営植民地への入植が始まる。さらに、チャベス植民

地に隣接するフラム移住地、アルト・パラナ移住地、そしてパラグアイとブラジルを結ぶ国際道路沿いにイグアス移住地を建設。日本人移住者が次々に入植した。現在、これらの人々はそれぞれに独立している。

パラグアイ共和国	
国土面積	約40万7000km ² (日本よりやや大きい)
気 候	亜熱帯性
人 口	約297万人・日系人数=約7000人
国民所得	約24億5000万ドル(年間1人当たり850ドル)
国 語	スペイン語
教育制度	初等教育の6年間は義務制

まだ多い開発の余地 期待される日本人

あらゆる面で未開発の部分が残るパラグアイ。たとえば、可耕地は国土の21.6%と推定されているが、未だにその18%、国土の4%が利用されているにすぎない。大いなる可能性をもつ国である。そしていま、アメリカをはじめ、日本から



▲穀物を貯蔵するサイロ 爽しい空の下、おらかな気持ちで仕事に励む移住者たち

◀人々の憩いの場にもなっているアスンシオン英雄広場

▼自動車の輸入販売、修理を行なうトヨタ商工 従業員数は300人 日本からの海外実習生の受け入れにも積極的 優良企業として、地元での信頼も厚い



◀果てしなく広がる牧場を、雄然と牛の群れが行く。カウボーイたちの忙しい一日が始まる。ここでは、自然と人間と動物が一緒に生きている



も経済協力、技術協力が行なわれている。

若いエネルギーに期待がかけられ、思う存分、力を発揮できる国である。

PEOPLE & SOCIETY

ハラグアイの人々は、ほとんどがゲアラニ族とスペイン人との混血、風貌、体格とも東洋人に酷似している。そして、熱帯地域特有の開放感と牧歌的環境



▲国境の町、フォストイグアスー

の影響で、この国の人々は純朴で楽天的だ。街では、マチ茶を飲みながら時間を忘れて談笑する人の姿が目につき、民俗音楽や舞踊を楽しむ光景も多く見ることが出来る。

スペインの支配下にあったために、国民の大多数は熱心なカトリック信者。街には多くの教会がある。



BOLIVIA

ボリヴィア



▲オキナワ移住地での小規模風景 ここにも近代化の波は確実に訪れ、コンバインによる効率的な作業が行われている

将来の発展を約束する 豊富な天然資源

国土の30%が海拔4000m以上の山岳地帯。そして全人口の60%が、山岳高原で生活している。首都、ラ・パスは海拔3700mに

ある、世界最高所の首都。富士山頂とはほぼ同じ高さである。

山岳高原地帯は鉱物資源に恵まれ、銀、銅、タングステン、アンチモニーなどを産出。これらの輸出額は、総輸出額の70%を占める。また熱帯低地帯では、

森林資源開発のほか、石油と天然ガスの採掘が盛ん。将来の発展を約束された国である。

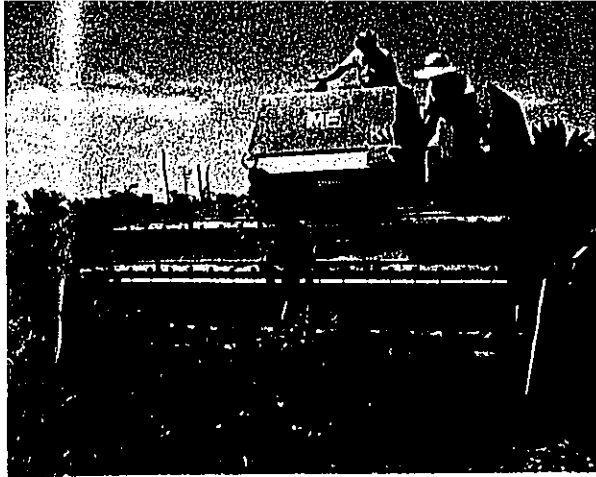
これから本格化する 新しい移住地

日本人のボリヴィア移住は1899年、ペルーへの移住者がゴム景気に刺激され、アンデス山脈を越えたことに始まる。

しかし、日本との間に移住協定が結ばれたのは、1956年と新しい。ボリヴィア政府の所有地払い下げにより、サンファン移住地(2万7000ha)、オキナワ移住地(5万4000ha)を建設、移住者1戸当たりは無償で50haが与えられた。そして1980年現在、所有地は153haに膨れ、両移住地に暮らす人々は2300人強。暇

ボリヴィア共和国	
国土面積	約109万9000km ² (日本の約3倍)
気候	平原地帯 亜熱帯 山岳、溪谷地帯 気温が低い
人口	約570万人・日系人数=約10500人
国民所得	約47億9500万ドル(年間1人当り594ドル)
国語	スペイン語
教育制度	初等教育の8年間は義務制





▲ハンドルを握る手にも力がこもる収穫風景、豊かな実りを称えるかのよう
に、空は澄み太陽がふりそそぐ

前からの日系人も含めると、在留日系人は約1万人に達する。

さらに新しい分野へ期待される日本人

日本人移住者は、旧来の規模農業を大きく転換、大型機械化農法を定着させた。主として米の生産に従事し、ボリビア国

内の米生産量を大幅に増大させている。米の大量輸入国は一転、かなりの量を国内でまかなえるようになった。

ボリビアへは農業移住が主体。米作をはじめ、大豆、トウモロコシ、柑橘類の栽培が盛んである。また養豚、養鶏、肉牛の飼育にも力が入れられ、農業開発の面で、つねにリーダーシップをとりつづけている。今後、産業の発達に伴い、日本人の活躍の場はさらにふえるであろう。



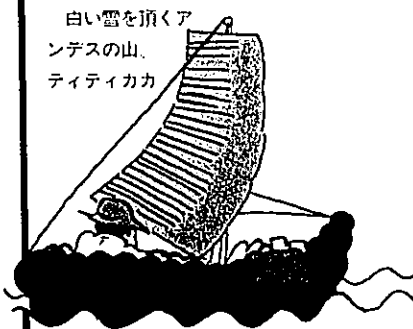
▲収穫に思わず笑顔がこぼれる

◀世界最高所にある首都として知られるラ・パス。市街地には近代的なビルが立ち並び、発展の勢いを感じる。市の全景はすり鉢型で坂道が多く、アンデスの風俗が溢れこむ

PEOPLE & SOCIETY

ここボリビアはインディオの国、白人はわずか5%だ。独自の文化が育まれ、都市では、山高帽をかぶり色彩豊かな衣装をまとった人々が、高層ビルの谷間に映える。

白い雪を頂くアンデスの山、ティティカカ



湖は世界最高所の湖だ。インディオの伝説と風物詩が息づいている。ティワナコ遺跡はインカ文明以前のもの。謎につつまれた大古の文明が、荘厳な姿を見せている。

神秘的な自然と古代文化の見事な融合——ボリビアのもう一つの魅力だ。



AUSTRALIA

オーストラリア

豊富な資源が支える 今日の繁栄社会

古くから羊毛、小麦、酪農品などの産出国として発展を遂げたオーストラリア。第二次世界大戦後は、鉄鉱石、石炭、ボー

キサイトなどの鉱物資源の発見により、世界的な資源供給国となった。

キャプテン・クックの発見以来、イギリスを中心としたヨーロッパからの移住者が入植。国家としての歴史はまだ200年ほ

どにすぎない。が、移住者とその子孫の努力と知恵、そして豊富な資源とが結びつき、今日の豊かな社会が築き上げられている。繁栄の証となる都市は海岸部に集中し、一方で内陸部には、無限の原野が広がる。いまなお、パイオニア・スピリットを継承する国である。

新しい時代の 新しい移住が始まる

日本からの移住は、白蝶貝や真珠貝を採るダイバーが渡った1871年にまでさかのぼり、その後も細々と続いた。そして1976年、日豪文化協定が結ばれ、さらに翌年からの新しい移民受入政策の実施により、日本からの移住は新しい局面を迎えた。現在、この国へ移住する日本人は、年間約200人。わかり司のオース

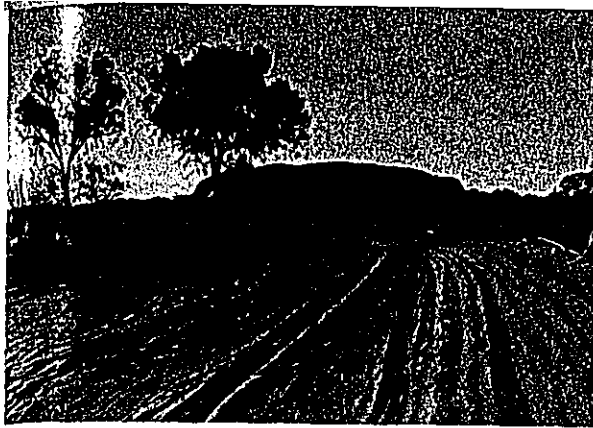
トラリア移住の歴史は、まだ始まったばかりである。



▲海岸線の入りこんだボート・ジャクソン湾沿岸につくられた港、シドニー
— オーストラリアの玄関口、幾可学校校のオペラ・ハウス(左)は有名

オーストラリア	
国土面積	約768万2300km ² (日本の約20倍)
気 候	国土の40%の地域 熱帯および亜熱帯 中央部以南 温帯
人 口	約1550万人・日系人数=約1600人
国民所得	約1192億3800万ドル(年間1人当たり7710ドル)
国 語	英語
教育制度	初等教育(6歳~15歳)の9年間は義務制





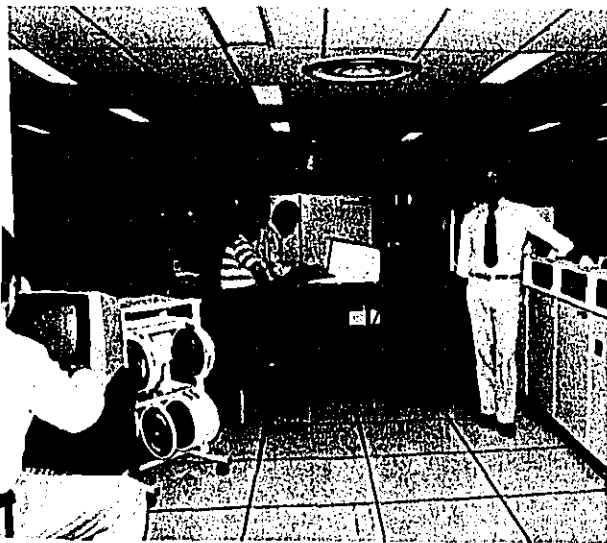
▲世界最大の一枚岩、エヤーズ・ロック、人間の尺度を越えている

いま求められる 確かな技術と能力

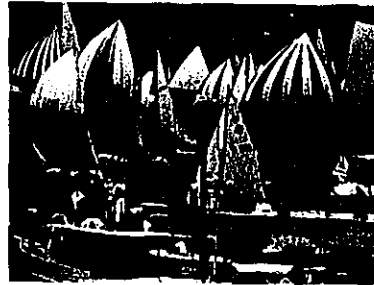
昨今、オーストラリアへの移住希望者が増加している。そのため連邦政府は、移住者受け入れの選考制度を取り入れている。いまオーストラリアで求められる人材は、技術者が中心。コンピューター関係者、電子・電

気技術者、土木建築関係者、木工職人、機械技師、煉瓦職人などである。確かな技術と能力をもつ者は歓迎される。

また、1980年に合意をみた“ワーキング・ホリデイ制度”により青年交流も活発化、渡豪者は年間400人以上におよぶ。現在、日本国籍をもつ在豪永住者数は約1600人。



▲日系のコンピューター会社に勤務するシステム・エンジニア
“Boys be ambitious”がモットーという技術移住者、日豪合弁清炭液化プロジェクトで、ハイブリッド関係の設計に従事している

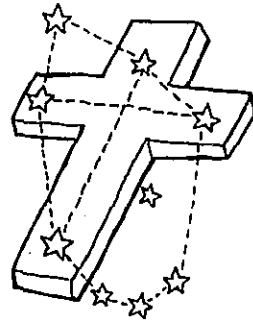


▲ヨットレースは人気がある

PEOPLE & SOCIETY

イギリスの几帳面さとアメリカ人の気軽さ、その両方を受け継いだオーストラリア人。彼らは陽気で楽観的。オーストラリアン・ハズバンドと尊敬される一家の主は、週末になると家の修理、芝刈りなどにいそしむ。アウト・ドア・ライフの好きな愛すべき友人だ。

オーストラリア社会の特色は、個人の生活と個性が尊重される個人主義社会。仕事と私生活とをはっきり区別する。職場では、担当業務の範囲が明確に定められ、給料は能力給。真の意味での自由が確立されている。

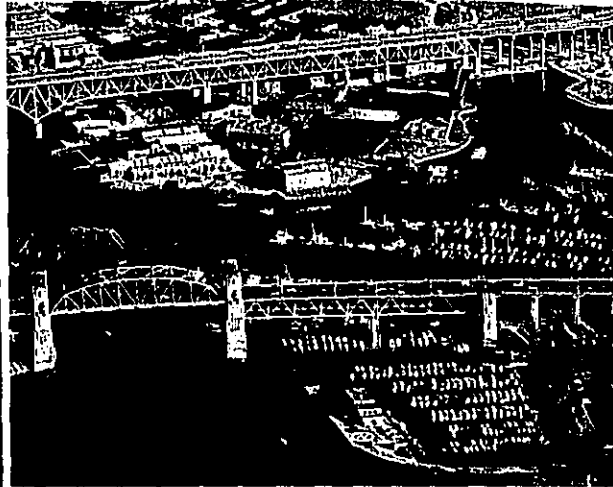


CANADA & AMERICA

カナダ・アメリカ

さまざまな魅力が
互いにぶつかり合う

カナダで最も日本人になじみの深いブリティッシュ・コロンビア州は、雄大な大自然の魅力



▲バンクーバー。国際色豊かな天然の良港は、カナダの西の玄関
◀どこまでも果てしなくつづく雪と氷と岩の山。そして、湖と豊かな緑の森。カナディアン・ロッキーは、カナダ最大の魅力だ

て、毎年1000万人もの観光客を集める。イギリスよりもイギリスらしいというニューファウン
ドランド州、「絵画州」と称され

るニュー・ブランズウィック州。それぞれに異なった多くの魅力をもつカナダ。そして、人々は
勤勉であたたかい。

摩天楼、西海岸、グランドキャニオン。都会と自然、喧噪と静寂、すべてを包んでくれる国、
アメリカ。自由の女神に集め

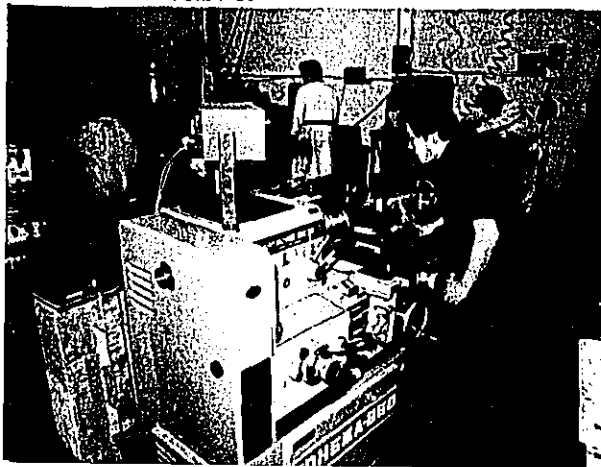
カナダ		アメリカ合衆国	
国土面積	約997万6000km ² (日本の約27倍)	国土面積	約936万3000km ² (日本の約25倍)
気 候	太平洋岸・冬でも温暖 北部・寒帯 中陸部・大陸性気候 南部・北海道並み	気 候	日本とほぼ同じで一般に温暖だが、国土が広大なため地域差がある
人 口	約2369万人・日系人数=約5万人	人 口	約2億2650万人・日系人数=約74万人
国民所得	約2222億2000万ドル (年間1人当たり8373ドル)	国民所得	約2兆6288億ドル (年間1人当たり9659ドル)
国 語	英語・仏語(2言語主義)	国 語	英語
教育制度	州政府が責任を持っている	教育制度	州によって異なるが小・中学校は義務制

れるこの間に、世界中の人々が可能性を求めて集まる。まさに人種のるつぼである。

日系社会を築いた 明治時代のパイオニア

明治元年のハワイ移住に端を発し、アメリカへの移住は、明治中期から活発化する。農業・漁業をはじめ、鉄道や鉱山、商業に従事し、移住者数は年々増加。1920年には11万人を超えた。一方、カナダへの移住は、アメリカに遅れること10年、1877年に始まる。移住者の大半は気候温暖なブリティッシュ・コロンビア州に住み、主に漁業に従事した。また、フレーザー河流域にも農業移住者が定住。彼らパイオニアの努力によって、日系人の地位は確固たるものになりつつある。

▼高度な金属加工の技術研究者。日本人の繊細な感性と器用さが新たな技術を生み出す



▲ヘアサロン経営のほか、多角的に活躍するリーダー的存在

確固たる日系社会が 地域に融合する

第二次世界大戦という受難の時代を乗り越え、日系人は自らの権利と地位の回復に努めた。そしていま、カナダ・アメリカ両国での日系人の地位は、いわゆる中流。職種も政治・経済・教育・文化と幅広く、日系社会の基盤は、確実に築かれたといえる。

戦後、日本からアメリカに渡った移住者は、約12万5千人。在米日系人数は、いまや73万人に達している。また、カナダの日系人総数は約5万人。これらの人々がカナダ全域に分布し、社会に融合している。

PEOPLE & SOCIETY

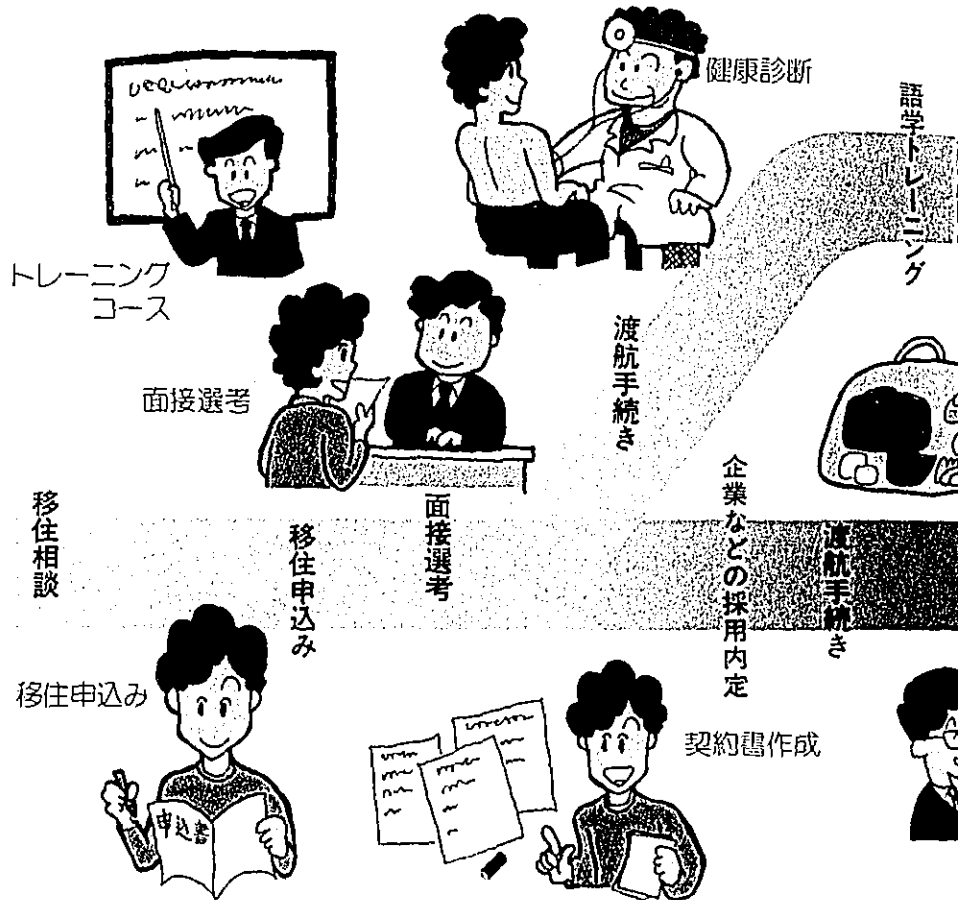
カナダの四季は、長くきびしい冬と、午後10時頃まで明るい夏に代表される。そして、この二つの季節をつなぐ短い春と秋。季節の移り変わりは、驚くほど鮮やかだ。

長い冬、人々はホームパーティーを開き、にぎやかな夜を過ごす。そして夏になると、陽光を求めて裸になる。春は枯木が突然緑に包まれ、秋は一夜にして、真紅の世界が広がる。

人々が最も待ちこがれる季節は夏。日本人移住者も、仕事が終わると、テニスやゴルフ、釣りなどに興じる。まるで、一日が2度あるような生活だ。



移住相談から出発まで。



渡航費援助のシステム

昭和60年1月現在

国際協力事業団扱いによる中南米移住者は、「移住者渡航費支給基準」により渡航費の援助を受けることができます。

援助額は、右表のように所得などによって異なります。また、カナダ、オーストラリア、その他の国および事業団扱いによらず移住する中南米移住者は、支給対象となりません。

所得額	1人		2人以上	
	円	ドル	円	ドル
100万円以下	100,000	1,000	150,000	1,500
100万円超～200万円以下	150,000	1,500	200,000	2,000
200万円超～300万円以下	200,000	2,000	250,000	2,500
300万円超～400万円以下	250,000	2,500	300,000	3,000
400万円超～500万円以下	300,000	3,000	350,000	3,500
500万円超	350,000	3,500	400,000	4,000

オーストラリア・カナダ
(約6~10ヵ月)



携行・別送
荷物指導



訓



南米の国々
(約7~10ヵ月)

渡航前短期訓練講習

海外開発青年制度

中南米に3年間
働きながら学べる新制度

①、現地の特定された公共機関や企業で、自己の技術を駆使し、日系社会の発展と地域開発に役立つ。

②、この活動のかたわら、現地生活のノウハウを吸収して、南米定着についての自らの適性を見きわめる。そして将来を設計、定住準備に着手できる。

活動に要する旅費と
現地での生活費を支給

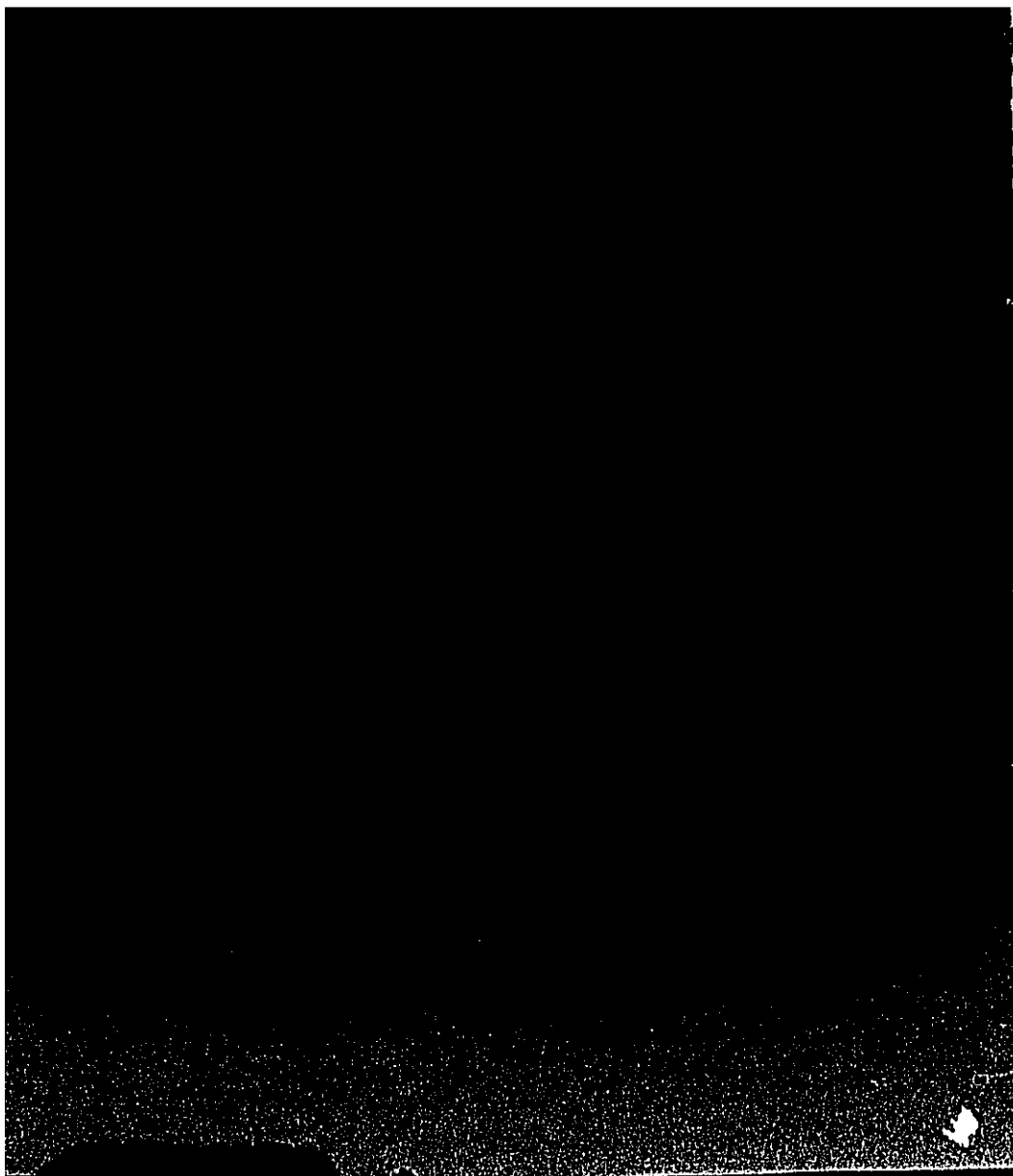
この制度は、選ばれた青年に対して、国際協力事業団が3年を限度とし、特別に支援するものです。前記の活動に要する旅費、現地での生活費などが支給されます。期間満了後の進路は自由、定住も可能です。

この制度の利用者は、求められる水準の技術を持っていること、趣旨に合った適性の持ち主であることが求められます。まず審査が行われ、これにパスした人は、出発前に日本国内で約3ヵ月間の研修があります。



国際協力事業団国内機関一覧

国内支店	支店長	国際協力部長	国際協力課長	国際協力課員
東京支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
大阪支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
名古屋支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
福岡支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
札幌支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
仙台支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
金沢支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
新潟支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
長野支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
山梨支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
甲府支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
静岡支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
愛知支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
岐阜支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
富山支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
石川支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
福井支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
滋賀支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
京都支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
和歌山支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
奈良支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
大阪府支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
兵庫県支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
徳島支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
香川県支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
愛媛支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
高松支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
岡山支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
広島支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
山口支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
福岡県支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
佐賀支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
熊本支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
鹿児島支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩
沖縄支店	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩	佐々木 浩



JICA
Japan
International
Cooperation
Agency
国際協力事業団

●写真提供

ヴァリアック・フランス航空

カタタラ航空

オーストラリア大使館

東京都新宿区西新宿2丁目1番1号
新宿三井ビル内私書箱216号〒160
TEL 03-346-5311 代表